

HyARC 共同研究坪木課題「偏波レーダと雲解像モデルの高度利用による雲・降水・大気水循環研究」・HyARC-NICT 研究集会森本課題「大気海洋現象のリモートセンシング技術の開発」合同研究集会

日時：平成 25 年 12 月 5 日（木）午前から、6 日（金）午前まで。

場所：NICT 独立行政法人 情報通信研究機構 沖縄電磁波研究センター
(沖縄県国頭郡恩納村字恩納 4484)

主催：名古屋大学 地球水循環研究センター

プログラム（講演 20～25 分程度。質疑を含む。）

平成 25 年 12 月 5 日 10－12 AM

森本昭彦 名古屋大学 研究会趣旨説明

兼田 淳史 福岡県立大学 若狭湾東部海域における急潮モニタリング

滝川 哲太郎 水産大学校 萩市見島－長門市青海島間を通過する対馬暖流と
水位差変動

市川 香 九州大学 海面力学高度で見た対馬海峡東西水道の流量の季
節変化

岩清水 徳堂 名古屋大学 東シナ海・黄海の高精度潮汐同化モデルを使用し
た海面高度計データの検証

森本 昭彦 名古屋大学 遠距離海洋レーダによる対馬暖流の流路観測

12－14（昼食）

平成 25 年 12 月 5 日 14－17 PM

城岡 竜一 JAMSTEC 西部熱帯太平洋域における PALAU2013 集中観測

上田 博 名古屋大学 PALAU2013において観測された降水システムの構造：初期解析結果

杉山 耕一朗 宇宙航空研究開発機構 CReSS-Mars の開発と気象予測に向けた数値実験

清水 慎吾 (独)防災科学技術研究所 偏波レーダセクタースキャンとVHF干渉計による雷雲の事例解析

山田 広幸 琉球大学 2010年奄美豪雨の発生前に沖縄本島を北上した降水システムの特徴

岩井 宏徳 NICT GPUを用いたバイオスタティック海洋レーダ受信機の開発の状況

杉谷 茂夫 NICT 遠距離海洋レーダ用ビーコン局の概要

平成25年12月6日10-12AM

馬場 賢治 酪農学園大学 アジアダスト輸送におけるバイオエアロゾル時空間変遷について

中村 晃三 JAMSTEC 運動学的ドライバを用いたCReSS雲微物理過程モデルの比較実験

金田 幸恵 名古屋大学 "非常に強い熱帯低気圧のinner-core(内部コア)構造に対する物理過程の影響～水平解像度2kmの2つの非静力学モデルを用いたダウンスケーリング実験より"

大東 忠保 名古屋大学 雲粒子ゾンデ観測とCReSSシミュレーションにおける氷晶の微物理量の比較－梅雨期のクラウドクラスターの事例－

"

加藤 雅也 名古屋大学 CReSS-NHOESを用いた日々のシミュレーションで再現された2012年の台風

坪木和久 名古屋大学 研究会まとめ